



# 平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成19年1月31日

上場会社名 株式会社 京葉銀行 (コード番号: 8544 東証第一部)  
 (URL http://www.keiyobank.co.jp/)  
 代表者 役職・氏名 取締役頭取 綿貫 弘一  
 問合せ先責任者 役職・氏名 常務取締役経営企画部長 藤坂 政美 TEL: (043)222-2121(大代表)

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 内容については、5頁の「四半期財務情報作成のための基本となる事項」に記載しております。  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況 (平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	53,470	(0.9)	18,470	(14.9)	10,730	(15.8)
18年3月期第3四半期	52,970	(4.6)	16,069	(1.5)	9,265	(1.4)
(参考)18年3月期	69,215	(2.8)	22,242	(7.6)	12,761	(10.1)

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	37	02	-	-
18年3月期第3四半期	32	00	31	99
(参考)18年3月期	43	83	43	81

(注)経常収益、経常利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期(前期)増減率を示しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	2,999,488	164,044	5.4	563 42
18年3月期第3四半期	2,941,156	154,745	5.3	534 00
(参考)18年3月期	2,924,960	151,531	5.2	522 64

(注)「自己資本比率」は、(四半期末(期末)純資産の部合計 - 四半期末(期末)少数株主持分)を四半期末(期末)資産の部合計で除した比率であり、「銀行法第14条の2の規定に基づき自己資本比率の基準を定める件」(平成5年3月31日大蔵省告示第55号)に基づいて算出する連結自己資本比率ではありません。

## 3. 平成19年3月期の連結業績予想 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

当第3四半期までの業績は順調に推移しており、平成18年10月30日に公表いたしました平成19年3月期連結業績予想に変更はございません。

(参考)平成19年3月期の連結業績予想 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	70,000	22,500	13,000

1株当たり予想当期純利益(通期) 44円 85銭

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要素によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 比較四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期末(A) (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期末(B) (平成18年3月期 第3四半期末)	比較 (A) - (B)	(参考) 平成18年3月期末 (C)	比較 (A) - (C)
(資産の部)					
現金預け	42,459	72,794	30,334	77,470	35,011
コールローン及び買入手形	80,963	23,992	56,971	4,435	76,528
商品有価証券	2,102	1,448	653	1,633	468
有価証券	805,801	813,026	7,225	802,558	3,242
貸出	1,980,116	1,943,094	37,022	1,955,199	24,917
外国為替	1,863	1,606	257	691	1,172
その他資産	16,423	13,828	2,594	11,273	5,149
不動産	-	44,466	-	45,095	-
有形固定資産	43,355	-	-	-	-
無形固定資産	492	-	-	-	-
繰延税金資産	22,528	25,995	3,467	25,675	3,146
支払承諾	25,955	30,128	4,172	27,799	1,843
貸倒引当金	22,573	29,225	6,652	26,873	4,299
資産の部合計	2,999,488	2,941,156	58,332	2,924,960	74,528
(負債の部)					
預渡性預金	2,763,612	2,708,029	55,582	2,666,211	97,401
借入金	8,400	13,991	5,591	18,619	10,219
外国為替	7	8	0	30,007	30,000
その他負債	86	30	55	51	34
賞与引当金	16,248	12,200	4,048	8,073	8,175
退職給付引当金	416	374	41	1,203	787
再評価に係る繰延税金負債	14,206	14,605	398	14,388	182
支払承諾	6,511	6,525	13	6,525	13
支払承諾	25,955	30,128	4,172	27,799	1,843
負債の部合計	2,835,444	2,785,894	49,550	2,772,880	62,564
(少数株主持分)					
少数株主持分	-	516	-	547	-
(資本の部)					
資本	-	49,759	-	49,759	-
資本剰余金	-	39,708	-	39,711	-
利益剰余金	-	44,761	-	48,258	-
土地再評価差額金	-	5,373	-	5,373	-
その他有価証券評価差額金	-	15,546	-	8,859	-
自己株式	-	404	-	431	-
資本の部合計	-	154,745	-	151,531	-
負債、少数株主持分及び資本の部合計	-	2,941,156	-	2,924,960	-
(純資産の部)					
資本	49,759	-	-	-	-
資本剰余金	39,718	-	-	-	-
利益剰余金	56,898	-	-	-	-
自己株式	457	-	-	-	-
株主資本合計	145,918	-	-	-	-
その他有価証券評価差額金	12,011	-	-	-	-
土地再評価差額金	5,374	-	-	-	-
評価・換算差額等合計	17,385	-	-	-	-
少数株主持分	739	-	-	-	-
純資産の部合計	164,044	-	-	-	-
負債及び純資産の部合計	2,999,488	-	-	-	-

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 比較四半期連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	当四半期(A) (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期(B) (平成18年3月期 第3四半期)	比較 (A) - (B)	(参考) 平成18年3月期
経 常 収 益	53,470	52,970	500	69,215
資 金 運 用 収 益	41,896	40,189	1,706	53,401
(うち貸出金利息)	( 32,991 )	( 32,388 )	( 602 )	( 42,953 )
(うち有価証券利息配当金)	( 8,621 )	( 7,650 )	( 970 )	( 10,245 )
役 務 取 引 等 収 益	8,097	7,522	575	10,079
そ の 他 業 務 収 益	871	761	110	1,038
そ の 他 経 常 収 益	2,604	4,497	1,892	4,695
経 常 費 用	35,000	36,900	1,900	46,972
資 金 調 達 費 用	1,680	599	1,081	782
(うち預金利息)	( 1,663 )	( 574 )	( 1,089 )	( 748 )
役 務 取 引 等 費 用	2,274	2,355	81	3,395
そ の 他 業 務 費 用	2,703	677	2,025	1,008
営 業 経 費	24,565	24,382	183	32,536
そ の 他 経 常 費 用	3,776	8,885	5,109	9,250
経 常 利 益	18,470	16,069	2,400	22,242
特 別 利 益	15	17	1	21
特 別 損 失	288	299	11	373
税金等調整前四半期(当期)純利益	18,198	15,787	2,410	21,890
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	7,355	6,470	884	976
法 人 税 等 調 整 額	-	-	-	8,069
少 数 株 主 利 益	112	51	61	82
四 半 期 (当 期) 純 利 益	10,730	9,265	1,464	12,761

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 当四半期、前年同四半期については、法人税等調整額を「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

## 四半期連結株主資本等変動計算書

自 平成18年4月1日

至 平成18年12月31日

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
前期末残高	49,759	39,711	48,258	431	137,298
当四半期中の変動額					
剰余金の配当	-	-	2,019	-	2,019
役員賞与	-	-	70	-	70
四半期純利益	-	-	10,730	-	10,730
自己株式の取得	-	-	-	72	72
自己株式の処分	-	6	-	46	52
土地再評価差額金の取崩	-	-	0	-	0
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	-	-	-	-	-
当四半期中の変動額合計	-	6	8,639	25	8,620
当四半期末残高	49,759	39,718	56,898	457	145,918

	評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
前期末残高	8,859	5,373	14,232	547	152,079
当四半期中の変動額					
剰余金の配当	-	-	-	-	2,019
役員賞与	-	-	-	-	70
四半期純利益	-	-	-	-	10,730
自己株式の取得	-	-	-	-	72
自己株式の処分	-	-	-	-	52
土地再評価差額金の取崩	-	-	-	-	0
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	3,151	0	3,152	191	3,344
当四半期中の変動額合計	3,151	0	3,152	191	11,964
当四半期末残高	12,011	5,374	17,385	739	164,044

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 【四半期財務情報作成のための基本となる事項】

当行は、中間（連結）財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。

なお、四半期財務情報に関する計数は、監査法人による監査を受けておりません。

### 〔簡便な手続きの内容〕

- (1) 当四半期の貸倒引当金は、平成18年12月末の自己査定結果による債権残高を基準としておりますが、正常先・要注意先に係る一般貸倒引当金繰入率及び破綻懸念先に係る個別貸倒引当金繰入率については、平成18年9月期において適用した繰入率に基づき計上しております。
- (2) 当四半期の税金費用は、法定実効税率をベースとした年間予測税率を基に算出しており、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

## 【表示方法の変更】

### 〔表示方法の変更内容〕

#### （連結貸借対照表関係）

「銀行法施行規則」別紙様式が改正されたことに伴い、当連結会計年度から以下のとおり表示を変更しております。

- (1) 負債の部の次に表示していた「少数株主持分」は、純資産の部に表示しております。
- (2) 「動産不動産」は、「有形固定資産」、「無形固定資産」又は「その他資産」に区分して表示しております。
- (3) 「その他資産」に含めて表示していたソフトウェアは、「無形固定資産」に含めて表示しております。

## 【セグメント情報】

### （1）事業の種類別セグメント情報

連結会社は銀行業以外の事業を一部営んでおりますが、それらの事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

### （2）所在地別セグメント情報

在外子会社及び在外支店が無い場合、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

### （3）国際業務経常収益

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

## 平成19年3月期第3四半期説明資料

## 1. 平成19年3月期 第3四半期の概況 【単体】

- ・積極的な融資推進と資金運用利回りの上昇並びに堅調な金融商品販売により、資金利益及び役務取引等利益が増加しましたが、有価証券利回りの改善と金利リスク軽減のため債券の入れ替えを進めたことにより、その他業務損失が1,515百万円となりました。この結果、業務粗利益は前年同期比632百万円減少し、43,959百万円となりました。
- 一方、当行では積極的な店舗投資及びIT投資を継続して行っておりますが、経費の増加を最小限に抑えたことにより、銀行本来の業務から得られる利益を表すコア業務純益は前年同期比1,362百万円増加し21,262百万円となり、引き続き高水準を維持しております。
- ・また、貸倒償却引当費用が前年同期比5,217百万円減少したことなどにより、経常利益は18,253百万円、第3四半期純利益は10,718百万円となり、いずれも過去最高の水準で推移しております。
- ・通期業績予想に対する進捗状況は、全ての項目につきまして9ヵ月経過時の目安となる75%を上回り、極めて順調に推移しております。

項 目	平成19年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)		平成18年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)	(参考) (単位:百万円) 平成19年3月期 通期業績予想 (12ヵ月間)
	平成18年3月期 第3四半期比	平成18年3月期 第3四半期比	平成18年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)	
業 務 粗 利 益	43,959	632	44,592	
(除く国債等債券損益)	46,054	1,539	44,514	
資 金 利 益	39,924	623	39,301	
役 務 取 引 等 利 益	5,550	649	4,901	
そ の 他 業 務 利 益	1,515	1,904	389	
経 費 (除く臨時処理分)	24,791	176	24,614	
人 件 費	11,625	159	11,785	
物 件 費	11,616	223	11,392	
税 金	1,550	112	1,437	
業 務 純 益 (一般貸倒引当金繰入前)	19,167	809	19,977	
( コ ア 業 務 純 益 )	21,262	1,362	19,899	27,000
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	439	303	743	
業 務 純 益	18,728	505	19,233	
( うち国債等債券損益 )	2,094	2,172	77	
臨 時 損 益	475	2,906	3,381	
不 良 債 権 処 理 額	2,052	4,913	6,965	
( 貸 倒 償 却 引 当 費 用 + )	2,492	5,217	7,709	
株 式 等 関 係 損 益	1,868	2,222	4,090	
経 常 利 益	18,253	2,400	15,852	22,500
特 別 損 益	280	8	289	
税引前四半期純利益	17,972	2,409	15,562	
法人税、住民税及び事業税	7,254	874	6,380	
四半期(当期)純利益	10,718	1,535	9,182	13,000

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 当四半期、前年同四半期については、法人税等調整額を「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(参考) 通期業績予想(単体)に対する進捗状況 (単位:百万円)

	通期業績予想	当四半期実績	進捗率
コア業務純益	27,000	21,262	78.74 %
経常収益	69,000	52,551	76.16 %
経常利益	22,500	18,253	81.12 %
四半期(当期)純利益	13,000	10,718	82.44 %

## 2. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体)

金融再生法ベースの開示債権は、平成17年12月末比30億円減少し、796億円となりました。  
 総与信に占める開示額の割合は0.22%減少し、3.96%となりました。

	(単位：億円)			(参考) (単位：億円)
	平成18年12月末 (A)	平成17年12月末 (B)	比較 (A) - (B)	平成18年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	222	218	3	221
危険債権	312	421	109	328
要管理債権	261	186	74	205
合 計	796	827	30	755
総与信に占める開示額の割合	3.96%	4.18%	0.22%	3.79%

(注)上記の計数は、当行の定める自己査定基準に基づき、債務者区分の判定を行った結果を、  
 「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の  
 カテゴリーにより分類しております。

債務者区分との関係：破産更生債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先・破綻先の債権）  
 危険債権（破綻懸念先の債権）  
 要管理債権（要注意先のうち、元金又は利息の支払いが3ヵ月以上  
 延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権）

なお、上記債権は、部分直接償却相当額を減額した後の残高を記載しております。

## 3. 自己資本比率(国内基準)

平成19年3月末の連結自己資本比率は11.8%程度を予想しております。当行は拠点を国内に限っておりますので国内基準を採用しており、基本的項目(Tier )のみで10.8%程度と国内基準の4%を大きく上回る見込であります。  
 また、当行では公的資金や負債性資本等については、一切取り入れをしておりません。

	平成19年3月末(予想値)	(参考) 平成18年9月末(実績)
	連結自己資本比率	11.8%程度
連結Tier 比率	10.8%程度	10.54%

(注)上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。  
 なお、平成19年3月期より新しい自己資本比率規制が実施されますが、上記予想値は従来の基準により算出しております。

## 4. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

	(単位：億円)				(参考) (単位：億円)	
	平成18年12月末		平成17年12月末		平成18年9月末	
	時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
その他有価証券	7,370	201	7,440	261	7,249	202
株式	696	226	606	224	684	209
債券	6,673	24	6,833	36	6,565	7
その他	-	-	-	-	-	-

(注) 1. 各四半期末の「評価差額」は、各四半期末時点の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

2. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

	(単位：億円)				(参考) (単位：億円)	
	平成18年12月末		平成17年12月末		平成18年9月末	
	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
満期保有目的の債券	661	10	673	21	663	3
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-

## 5. デリバティブ取引（単体）

## (1) 金利関連取引

該当ありません。

## (2) 通貨関連取引

区分	種類	(単位：億円)						(参考) (単位：億円)		
		平成18年12月末			平成17年12月末			平成18年9月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	通貨先物	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	通貨オプション	-	-	-	-	-	-	-	-	-
店頭	通貨スワップ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	為替予約	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通貨オプション	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計			0			0			0

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引等は、上記記載から除いております。

## (3) 株式関連取引、債券関連取引、商品関連取引、クレジットデリバティブ取引

該当ありません。



## 6. 預金・貸出金等の状況【単体】

## (1) 預金の残高

預金は、個人預金を中心に平成17年12月末比 552億円増加し、2兆7,642億円となりました。

	(単位：億円)			比較 (A) - (B)	(参考) (単位：億円)
	平成18年12月末 (A)	平成17年12月末 (B)	比較 (A) - (B)		
預 金	27,642	27,090	552		平成18年9月末 26,963
個人預金	23,018	22,584	434		22,449

(注) 預金については、譲渡性預金を含んでおりません。

## (2) 個人預かり資産残高

個人預かり資産残高は、平成17年12月末比 1,053億円増加し、3,676億円となりました。

	(単位：億円、%) (参考) (単位：億円)			比較 (A) - (B)	増減率	平成18年9月末
	平成18年12月末 (A)	平成17年12月末 (B)	比較 (A) - (B)			
個人預かり資産	3,676	2,622	1,053	40.1%		3,473
公共債	1,634	1,398	236	16.9%		1,579
投資信託	1,415	887	527	59.3%		1,306
個人年金保険	626	337	289	85.9%		588

## (3) 貸出金の残高

貸出金は、平成17年12月末比 368億円増加し、1兆9,805億円となりました。  
住宅ローンは、325億円増加、中小企業等向け貸出金は、428億円の増加となりました。

	(単位：億円、%)			比較 (A) - (B)	(参考) (単位：億円、%)
	平成18年12月末 (A)	平成17年12月末 (B)	比較 (A) - (B)		
貸 出 金	19,805	19,437	368		平成18年9月末 19,616
住宅ローン	6,449	6,124	325		6,339
中小企業等向け貸出金 (中小企業等貸出比率)	16,887 (85.26)	16,458 (84.67)	428 (0.59)		16,634 (84.79)

本件に関するお問合せ先  
経営企画部経理グループ 富川・根津  
TEL：043-222-2121(内線 391)